

カナダ・ユーコン準州

面積：483,450 km² (日本の1.3倍)
人口：約45,000人
州都：ホワイトホース
(人口約35,000人)



アクセス

日本からユーコン準州へは、カナダ西部の都市バンクーバー（ブリティッシュ・コロンビア州）を経由して行くルートが便利。日本からバンクーバーへは、エア・カナダ、全日空、日本航空の直行便が運航（所要時間8～9時間）。このほかバンクーバーへは、シアトルなどアメリカ経由で入ることも可能。

バンクーバーから州都ホワイトホースへは、エア・カナダとエア・ノースが直行便を運航（所要時間約2時間20分）。

※季節により運航便数などが異なります。

Yukon
LARGER THAN LIFE



ユーコン準州は、国連世界観光機関「INSTO（持続可能な観光地づくり国際ネットワーク）」に加盟しています。

ユーコンの最新情報は公式サイトで！

オーロラやアウトドア関連の動画&画像満載のギャラリーページもチェック！

yukonjapan.jp

発行：ユーコン準州観光局 2407

表紙写真：トゥームストーン準州立公園でのハイキング



※掲載している情報は2024年7月現在のものです。



ここにしかない、大きな体験

YUKON

Travel Guide

カナダ・ユーコン準州トラベルガイド

Yukon
LARGER THAN LIFE

人生を変える旅 ユーコンへようこそ

氷河を抱いて屹立する山々、大地をゆったりと流れる大河。
そして針葉樹の森と、どこまでも続くツンドラの原野。
カナダ・ユーコン準州は、日本よりも大きな面積をもちながら、
その約80%は手つかずの自然地帯で占められています。
そこは、魂を揺さぶるような絶景に満ちたアドベンチャーワールド。
圧倒的に大きな風景の中に飛び込んで、全身を解放してみませんか。
日が暮れることのない白夜や、
神秘のオーロラが舞う極夜も訪れる極北の大地で、
これまでに体験したことのない、人生を変えるような特別な旅を。

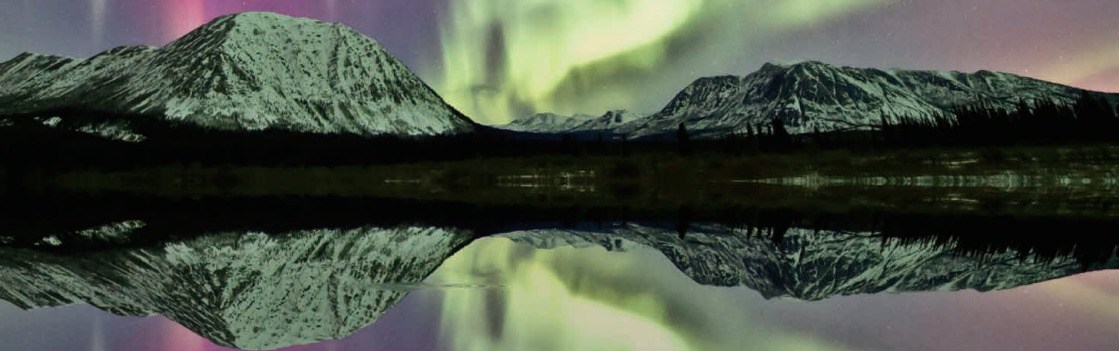
Contents

このオーロラ、ユーコンだけ！	04
ソーラーマックスの今こそチャンス！ 壮大なオーロラショーを見に行こう！	06
春から秋のアクティビティ	08
冬のアクティビティ	10
タウンガイド	12
絶景の自然公園	18
MAP & 基本情報	20

ユーコン中西部、ウィンド川をカヌーで旅し、渓谷を見渡す岩山へハイキング。この大自然が遊び場！

Aurora Viewing

このオーロラ、 ユーコンだけ！



ユーコン準州は、世界でも有数のオーロラ鑑賞地です。ここには、その神秘的な光に出会うためのさまざまな条件が揃っています。シーズンは、夜の時間が長くなる8月末から4月まで。晩夏から秋にかけては、静かな湖に光が映り込む「逆さオーロラ」に出会えるチャンスも。また、冬には雪を被って銀色に輝く山並みとオーロラの素晴らしいコラボレーションが見られるのが魅力。豊かな自然が溢れるユーコンならではの、特別な天体ショーをご堪能ください。

ホワイトホースの南、アニー・レイク。秋、静かな湖面に映り込む見事なオーロラ

神秘の光を 鑑賞する方法 4選！

ユーコンでは様々なスタイルでオーロラ鑑賞が楽しめます。光の出現を期待して、ワクワクと胸躍るようなひととき。あなたならどんな場所で、どのように見たいですか。



静かなロッジで
夢のようなオーロラナイトを

時間を気にせずに
オーロラ鑑賞が可能
(Photo:Wolfgang Bublitz)

町から離れた一軒宿のロッジやB&Bに滞在。自分の部屋で一晩中オーロラを待つことができます。ひとたび光が現れたら室内から、あるいは外に飛び出して鑑賞することも可能。ご自身のペースで見たい方にびったりです。

大自然の中、好条件の
鑑賞施設を利用



ドーン・シティの鑑賞施設
(Photo:Yukinobu Yamamoto)

町の明かりが届かず、また空が見渡せる場所にある専用施設に移動し、暖かいスペースで光を待ちます。ガイド付きのツアーで訪れるため、オーロラの説明を聞いたり、たき火や厳寒地アトラクションなども楽しんだりができます。

雲の上を飛ぶ
「オーロラフライト」で確実に



オーロラ情報を確認し飛行ルートを選択

オーロラ発生の確率が高い夜に、ジェット旅客機に乗って雲の上へ。満天の星の下、光に近づいて遊覧飛行をします。チャーターフライトによるツアーとして過去何度か実施されており、これまでのオーロラ遭遇率は100%！

車に乗って縦横無尽に
オーロラハンティング

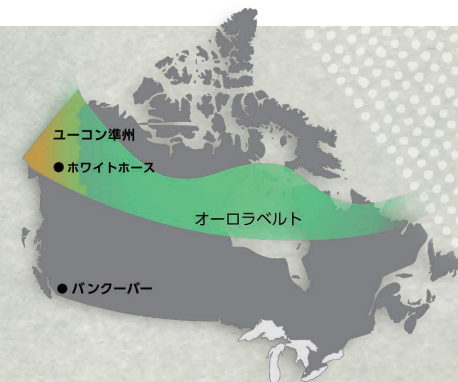


光を求めて大自然の中へ

オーロラの出現情報を確認しながら、バンなどに乗って光を追跡。見られる場所に移動して鑑賞するというアグレッシブなツアー。何もない原野や、山の麓など、鑑賞ポイントはそのとき次第で、フレキシブルに選ばれます。

オーロラベルトの 真下に位置するユーコン！ だからダイナミックな光が見られる

オーロラは、地球の南北の磁極を中心に環状に発生しますが、それが頻繁に起きやすいエリアはオーロラベルトと呼ばれます。ユーコンは、このオーロラベルトの真下に位置しており、世界でも有数のオーロラ鑑賞の絶好地といえます。あなたもオーロラシーズンのユーコンを訪れ、その神秘的な光を目の当たりにしてみませんか。



※オーロラは、白夜の時期以外の、天候の良い日に見られる確率が高くなります。

ソーラーマックスの今こそチャンス！ 壮大なオーロラショーを見に行こう！

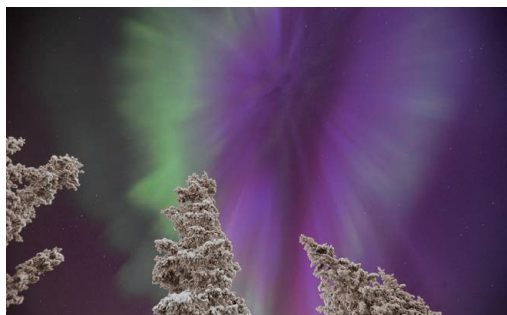


ソーラーマックスって何？

太陽はおよそ11年周期で活動が活発になる「ソーラーサイクル（太陽活動周期）」を繰り返していることが分かっています。記録によれば、1755年以来、これまですでに24回のソーラーサイクルが繰り返されており、2019年からは新たに25回目の周期に入っているとのこと。そして、その期間で最も太陽活動が活発になる「ソーラーマックス（太陽極大期）」が、2024年から2025年頃に起こると予測されています。

今後数年間をピークにさらに大きなオーロラが見られる！？

「ソーラーマックス」の際には、太陽フレアが頻繁に起こることにより、強力な太陽風が放出されます。そしてこれが地球に達すると、磁気嵐など様々な影響が出ることが考えられます。そのひとつが、巨大オーロラの発生です。オーロラを頻繁に見ることが出来るユーコンでも、2024年から2025年といわれる「ソーラーマックス」をピークに、その前後の数年間はいつも以上にダイナミックなオーロラを見られる可能性が高くなると期待されています。壮大な天体ショーを見られるビッグチャンス！ 一生に一度の思い出となり得る、オーロラと出合いに、今こそユーコンへ！



鑑賞のベストシーズンは8月末から4月半ば
それぞれの季節ごとに、光+αで楽しめます

秋の魅力

湖に映る「逆さオーロラ」も必見

8月終わりから10月末にかけて、ユーコンは秋景色に覆われます。黄金色に輝く広葉樹の森や、見渡す限り赤い絨毯を敷き詰めたようなツンドラの紅葉。そんな極北地方でしか見られない貴重な風景の中で、ハイキングやカヌーなど本格的なアウトドアアクティビティをお楽しみください（詳細はP8へ）。あまり寒さを気にせずにオーロラ鑑賞できるのも、この季節の魅力。凍っていない湖に映り込む「逆さオーロラ」もお見逃しなく！



冬の魅力

雪と氷の世界で神秘的な光を

冬から春にかけてのユーコンは、森も湖も、全てが雪と氷で覆われた真っ白な世界。暗闇の中に浮かび上がる、色あざやかなオーロラと白銀の山々とのコラボレーションも必見です。氷のシャボン玉や一瞬にして凍る水しぶきなど、日本ではできない極寒体験にもぜひ挑戦を。日中は、犬ゾリやクロスカントリースキー、スノーシューなどのウインターアクティビティで、ダイナミックな自然を満喫できます。（詳細はP10へ）。



真冬でも完全防寒の レンタルウエアで安心！

真冬には-30℃以下になることも珍しくないユーコンでは、厳寒地仕様の防寒ウエアが必須です。ほとんどのオーロラ鑑賞ツアーをはじめ、ホワイトホースのアウトフィッターなどでは、冬にオーロラやアウトドアアクティビティを楽しむ人のために、レンタルの防寒ウエアを用意しています。ジャケットやオーバーパンツはもちろん、帽子やグローブ、ブーツまで一式揃い、完璧に暖かい状態で過せるので、ご安心を！





Hiking

雄大な風景のその先へ

目の前に広がる絶景の中をハイキング。歩くほどに、そのスケールの大きさが実感できます。ハイキングコースは国立公園や準州立公園はもちろん、準州全域に整備されており、あらゆるレベルのハイカーが楽しめます。

大自然を満喫できる絶景トレイルが豊富

Green Yukon

大自然の中で思い切り遊ぼう！

— 春から秋のアクティビティ —

緑が溢れ、野の花が咲き乱れ、野生動物たちが駆け巡る。生命の躍動感に満ちたこの季節、壮大な風景に飛び込んで、ダイナミックに遊びましょう。豊かな水をたたえた川や湖、氷河を抱いた山々。果てしなく続く大自然が遊びの舞台です。



Canoeing

世界のカヌーイスト憧れの地

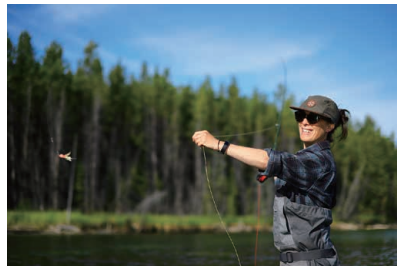
ユーコン川をはじめ、美しい川や湖に彩られたユーコンでは、カヌーやカヤックはお馴染みのアクティビティ。道具のレンタルやガイド付きのツアーも充実しています。大自然と一体化するような、雄大なパドリング体験を！

2時間ほどの気軽なツアーから数日間のカヌートリップまで可能

静かな水辺で大物を狙う

無数にある湖や川でノーザンバイクなどの大物を釣り上げてみませんか。ライセンスや用具などがセットになったガイドツアーを利用すれば、初心者でも気軽に、しかも本格的に楽しむことができます。

Fishing



ツアーガイドがベストポイントへ案内



Camping

大地を感じ、星空の下で眠る

クルアノ・レイク。カヌー&キャンプも人気

キャンプをしながら自由な旅を。ユーコンには公営のキャンプ場をはじめ、民間のRVパークなど、様々な施設が揃っています。ハイキングやカヌートリップで利用できるバックカントリーのキャンプ場も多数あります。

ユーコンの主役は野生動物

Wildlife Viewing



カリブー30万頭以上、ムース7万頭、ブラックベアが1万頭。ここにはたくさんの動物が生きています。野生の姿は頻繁に見られますが、刺激をせず静かに観察を。動物ウォッチングのツアーも各種あります。

岩場でよく見られるドルーシープ



素晴らしいパノラマコースも充実

極北の大地を絶景ドライブ

ユーコンには「アラスカ・ハイウェイ」や「クロンダイク・ハイウェイ」をはじめ、素晴らしいドライブルートが延びています。ツンドラの原野を走り抜ける「デンプスター・ハイウェイ」など、秘境ルートも見逃せません！

Biking

MTB専用トレイルも充実

ホワイトホースやカークロスにはマウンテンバイク専用のトレイルが整備され、世界的に注目されるコースもあります。また絶景の中を巡るサイクリングルートも豊富。自転車で旅する人も増えています。



Scenic Drive

風光明媚なクロンダイク・ハイウェイ

Red & Golden Yukon

ひととき鮮やかな極北の秋

8月末～9月にかけ、ユーコンでは紅葉シーズンを迎えます。ホワイトホースなどの南部では広葉樹が黄金色に染まり、一帯が輝くような鮮やかさに。またトゥームストーン準州立公園など北部では、ツンドラの大地が赤く色づき、見渡す限り、深紅の絨毯を敷き詰めたような景観に。極北の秋景色は、ため息が出るほどの美しさです。



南部一帯では黄葉が見事

紅葉のツンドラ地帯に延びるデンプスター・ハイウェイ



11月から3月にかけて、ユーコンでは長い冬が続きます。南部にあるホワイトホースでも気温が-20℃を下回することは珍しくありません。けれど、そんな中でも思い切り遊ぶのがユーコンスタイル。雪と氷の世界でしか体験できない遊びがいっぱい待っています。



元気なソリ犬とふれあえるのも魅力
(Photo: ArcticMediaCreation.com)

Dog
Sledding

ドッグチームと共に雪上を疾走

カナダの先住民が、雪の季節の移動手段として利用していた犬ソリ。現在ではアクティビティとして楽しむことができます。雪に覆われた森や原野を犬たちと一緒に疾走するのは実にエキサイティング。マッシュャーに挑戦できるツアーもあります。ユーコン準州では、法律に基づき、ソリ犬たちを大切に保護しつつ、歴史ある犬ソリ文化の維持に努めています。



Skiing

ホワイトホース周辺にトレイルが充実

雪の大地を ジョギング気分で

ユーコンでスキーといえばクロスカントリー。たくさんのトレイルが整備されており、ジョギング感覚で体験できます。またバックカントリースキーやヘリスキーのツアーも人気。ホワイトホース郊外にはマウントシマースキー場もあります。

専用トレイルを クルージング

冬のユーコンには、スノーモービル専用トレイルの長大なネットワークが出現します。森を抜け、雪原を走り、時には凍った湖の上もルートに。ガイドツアーも充実しており、初心者でもダイナミックなスノークルージングができます。



風景を眺めながら雪上散歩

Snow
Shoeing

白銀の世界をのんびり散歩

雪に覆われた森の中や原野を、スノーシューを履いて散歩してみませんか。白い冬の風景を眺めながら歩くのは、最高の気持ちよさ。クロスカントリースキーのトレイルなどが利用でき、フカフカの雪の感触を味わえるエリアも豊富です。



Snow
Mobiling

凍った湖もトレイルの一部に

日が暮れない「白夜」と 夜が続く「極夜」

北緯66.6度以北の北極圏では、夏至を中心に1日中太陽が沈むことのない「白夜」が訪れます。北緯60.7度のホワイトホースでも、この時期の日照時間は19時間以上。外で遊べる時間が非常に長くなり、夜にハイキングやフィッシングを楽しむ人の姿も見られるほどです。逆に冬至の時期には、夜の暗い時間帯がとても長い「極夜」となり、オーロラ鑑賞には最適な環境となります。いずれも、極北地方ならではの特別な体験です。



時間の感覚がなくなるほど日が長くなる夏



凍った湖にじっくり座って

硬く凍りついた湖にドリルで丸い穴を開け、のんびりと釣り糸を垂らすアイスフィッシング。氷上でアウトドアウェアに座り、ホットコーヒーなどで暖まり、大きなマスなどを期待しつつ、気長に楽しめます。

ツアーに参加するのがおすすめ

Ice
Fishing

大自然に囲まれて、 自由な空気が漂う州都 ホワイトホース

ユーコンの旅の起点となるのは、州都のホワイトホース。人口約35,000人の小さな町ですが、それでもユーコン全人口の8割ほどの人が暮らしています。ダウンタウンのすぐそばをユーコン川が流れ、雄大な大自然に囲まれており、その環境に惹かれて移り住むアウトドアファンやアーティストも少なくありません。そのせいか、町には独特の自由でクリエイティブな空気が漂っています。



ユーコン川の畔に広がるダウンタウン



Food & Drink

世界の料理から
地ビールまで、

「おいしい」選択肢が豊富

「小さい町ながら、印象的なレストランが多い」と評判のホワイトホース。中心街には、北米料理をはじめ、和食、イタリアン、メキシカン…と多様なレストランが集まっています。自家焙煎のコーヒー専門店や手作りベーカリーなど、こだわりの店が多いのも特徴で、地ビールの醸造所にいたっては、なんと5カ所も点在！カリブーなどのジビエや、アークティック・チャー（ホッキョクイワナ）といった北の味覚も是非ご賞味を。



地ビールも大人気
(Photo: www.archbould.com)



極北の町で世界の味を堪能

Attraction

主な見所 & アトラクション

マイルズ・キャニオン

Miles Canyon

ユーコン川にある渓谷で、川沿いにはダウンタウンから続くトレイルが延び、エメラルド色の水を眺めながらの散策が楽しめます。道路からのアクセスも可能。またカヌーツアーの目的地としても人気です。



ユーコン野生動物保護区

Yukon Wildlife Preserve

ケガをしたり、親とはぐれたりした野生動物の保護施設。自然環境が保たれた広大な施設内は一般公開されており、ムースやカリブー、オオヤマネコなど、常時12種類以上の動物を観察することができます。



エクリップス・ノルディック・ホットスプリングス

Eclipse Nordic Hot Springs

北欧スタイルの温泉体験がテーマの大人向け保養施設。いくつかの温泉プールがあり、中には日本の岩風呂風のものも。冬、濡れて凍った髪の毛を大胆にスタイリングして遊ぶのもユーコン流。利用には水着着用を。



ユニークな博物館

Unique Museums

ユーコンの歴史・文化を紹介する「マクフライド博物館」、太古の時代に北米とユーラシアの間に存在した陸橋の自然がテーマの「ユーコン・ベリンジア・インタープリティブ・センター」など、文化施設も充実。



Accommodation

観光、オーロラ鑑賞など、

目的に合わせて選べる宿泊施設

ホワイトホースには、様々なタイプの宿泊施設があり、旅のスタイルや予算に合わせて選ぶことができます。設備の調ったホテルから、手頃なゲストハウスやB&B、アクティビティを提供するロッジまで、実に豊富。オーロラを鑑賞するのにピッタリの、郊外の一軒宿なども人気です。また、自然の中での滞在を満喫できるキャンプ場も整っています。



オーロラ鑑賞にも最適な自然の中の宿も

Shopping

お土産にはローカルクラフトや
先住民アートがおすすめ

メイン・ストリート周辺では、ショッピングの楽しみも尽きません。ギャラリーやクラフトショップが目立ち、先住民アートや工芸品、ローカルアーティストの手によるアクセサリや絵画、雑貨など、大自然にインスパイアされた大胆な作品が人気です。さらに、アウトドアショップも多く、カヌー、ハイキング、キャンプのウエアや用具はかなりの充実。スーパーマーケットでチョコレートやジャムなど地元食材を探すのもおすすめです。



ローカルアートが並ぶギャラリー
手作りの石けんなども人気
(Photo: ArcticMediaCreation.com)

ゴールドラッシュの夢を留めるレトロタウン ドーソン・シティ

人口2,000人ほどの小さな町、ドーソン・シティは、ユーコンの歴史上とても重要な場所です。1896年、ここで金が発見され、北米最大のゴールドラッシュが沸き起こりました。ピーク時には4万人が暮らすカナダ西部最大の町に成長。1898年にはユーコン準州が創設され、その州都となりました。ゴールドラッシュは、その後5年足らずで終焉し、やがて州都はホワイトホースへと移転。現在、ダウンタウンには当時の様子が再現されており、周辺のゴールドラッシュ関連の場所とあわせ「クロンダイク国定史跡群」として登録されています。

ホワイトホースから車で約6時間、飛行機で約1時間



クラシックなカジノやカンカンショーも



19世紀の町を再現したダウンタウン

世界遺産「トロンデック - クロンダイク」 先住民視点で振り返るゴールドラッシュ

2023年9月、ドーソン・シティ以北の一帯が、「トロンデック - クロンダイク」としてユネスコ世界遺産に登録されました。このエリアは、古くから先住民トロンデック・フェッチン族が暮らしてきた土地で、19世紀後半にドーソン・シティで起こったクロンダイク・ゴールドラッシュにより大きな影響を受けました。世界遺産には、先住民の生活環境の変化とそれに対する適応、先住民と入植者の交流などといった、ゴールドラッシュ時の様々な側面を示す跡地や場所、8エリアが含まれます。



先住民文化を紹介するドーソン・シティ「ダノジャ・ゾ文化センター」

Attraction

主な見所 & アトラクション



歴史的ダウンタウン

Historical Downtown

ボードウォークの歩道に並ぶ木造ホテルやシングドアのついたサルーンなど、西部劇に出てくるような風景が広がるダウンタウン。カンカンショーや蒸気船といったゴールドラッシュ時代さながらの様子を見ることができます。夏には当時の衣装をまとったガイドが案内するウォーキングツアーも行われています。レストランやカフェも夏季を中心にオープン。

ボードウォークの歩道に並ぶ木造ホテルやシングドアのついたサルーンなど、西部劇に出てくるような風景が広がるダウンタウン。カンカンショーや蒸気船といったゴールドラッシュ時代さながらの様子を見ることができます。夏には当時の衣装をまとったガイドが案内するウォーキングツアーも行われています。レストランやカフェも夏季を中心にオープン。



ダノジャ・ゾ文化センター

Danoja Zho Cultural Centre

この地の先住民の集会施設で、歴史や文化についての展示も充実。伝統舞踊や歌のステージも見られる他、ピーズワーク、料理体験、植物の学習など、工夫を凝らしたプログラムもあり、旅行者も参加できます。



ゴールドパニング

Gold Panning

平たいパン（鍋）で川底から砂をすくい、ぐるぐると回しながら小石や砂を振るい分けて捨てていくと、最後に比重の思い金が残ります。この、昔ながらの砂金すくいのアトラクションが、様々な場所で体験できます。

ゴールドフィールド

Gold Field

ゴールドラッシュ以降もずっと採金が行われてきた場所。20世紀の前半、大手の会社が巨大な機械を使って採掘作業を行い、ユニークな地形を作り出した「ドレッジ#4」などが見学できます。



北の自然と共存してきた ユーコンの先住民

厳しい環境の中で狩猟生活を行い、自然を敬い、独自の文化を創り上げてきたユーコンの先住民。現在、ユーコンの全人口約45,000人のうち22%ほどを先住民が占めています。人々は、地域ごとに14の部族団体を形成。カナダ政府と協定を交わし、自治体制を整え、将来のよりよい生活において環境を管理する取り組みを行っています。独自のカルチャーセンターを持ち、積極的に文化紹介を行っている部族団体もあります。アートの展示、ダンスや歌のパフォーマンス、料理やクラフトのワークショップなどは人気プログラム。一年を通じて様々なフェスティバルも各地で行われており、旅行者にも人気があります。



ドーソン・シティ郊外ムースハイドのフェスティバル

カークロス先住民文化センター





各種のツアーがある観光列車「ホワイト・バス&ユーコン・ルート鉄道」

「カークロス・ commons」では先住民文化体験も



Town Guide Carcross

鉄道旅行、ドライブ、MTBも人気 カークロス

ゴールドラッシュ時代、アラスカのスカグウェイとホワイトホースの間を結んでいた歴史的鉄道の、現在の東の起点となっている町が、カークロス。夏には鉄道ツアーを楽しむ旅行者で賑わいます。駅周辺にはかわいらしいホテルなどが並び、カフェやショップ、文

化センターが入った「カークロス・ commons」は人気スポット。また美しい湖が点在するサザン・レイクス地域への、ドライブ観光の拠点ともなっています。さらに近年ではマウンテンバイクの素晴らしいトレイルが整備され、アウトドアファンにも注目されています。

ホワイトホースから車で約50分

Town Guide Haines Junction

クアアニ国立公園へのゲートウェイ ヘインズ・ジャンクション

クアアニ国立公園への観光やアウトドア旅行の拠点となるのがここ。小さな町ですが、国立公園のビジターセンターをはじめ、アウトドア系のツアーオペレーター、さらにホテルやレストランも集まっています。大人気のハイキングをはじめ、遊覧飛行やヘリハイキング、ラフティングツアーなどもここをベースに楽しむことができます。

ホワイトホースから車で約1時間30分



クアアニ国立公園などへの遊覧飛行も



大自然の中を走るアラスカ・ハイウェイ沿いに町が佇む



ビジターセンター

思わぬ発見が待っている、北の小さな町や村へ

広大なユーコンには主にハイウェイ沿いにくつかりのコミュニティが点在しています。ホワイトホース以外はいずれも本当に小さな町や村で、人口が100人以下という場所も珍しくありません。そんな小さな集落に足を延ばしてみるのも、ユーコンの面白さです。

ワトソン・レイク

Watson Lake

「道路標識の森」が名物となった南端の町

ユーコン準州の南端にあるこの小さなコミュニティを有名にしているのは、数えきれないほどの道路標識が一堂に集められた「サインポスト・フォレスト」。1942年にアラスカ・ハイウェイ建設にあたったアメリカ軍兵士が、ホームシックを癒すため、およそ4300km離れた自分の故郷の方向を指す標識を立てたことから始まったもの。以来、世界のありとあらゆる道路標識が集まり、その数は現在85,000本以上に。また、この町には、オーロラに関する展示や映像が楽しめるノーザンライツ・センターもあります。



世界各地の道路標識やナンバープレートがギッシリ

ホワイトホースから車で4時間30分

イーグル・プレーンズ

Eagle Plains

デンブスター・ハイウェイの貴重な立ち寄りスポット

ドーソン・シティから北へ、北極海まで走り抜けるデンブスター・ハイウェイ。700km以上に及ぶルート上の中間エリアには、途中1カ所だけホテルがあります。それが、この集落にあるイーグル・プレーンズ・ホテルです。ホテルには36室の客室があるほか、レストラン、ショップ、ランドリーそしてガソリンスタンドや簡単な車両整備施設などを併設。一帯は見渡す限りツンドラの大平原で、カリブーやドールシプ、オオカミなどの野生動物を見かける事もしばしば。あと35kmほど走ればもう北極圏です。



ツンドラの大地に伸びるデンブスターハイウェイ沿いに、ボツンと1軒の小さなホテルが建つ

ドーソン・シティから車で約5時間30分

そのほかの ユニーク コミュニティ

オールド・クロウ

Old Crow

先住民文化が息づく北極圏の村

北緯67度にあるオールド・クロウは、ユーコンで唯一、北極圏にあるコミュニティ。夏には日が暮れる事のない白夜、そして冬には日が昇る事のない極夜が体験できる場所でもあります。先住民グウィッチン族が暮らす地で、現在も人々は独自の文化を維持しながら生活しています。町に繋がる道路はなく、アクセス方法は飛行機のみという秘境。カリブーの群れが大移動するルートも近く、周辺にはバンタット国立公園など壮大な自然が広がっています。訪問する場合はアクセスや宿泊なども含まれたパッケージツアーを利用するなど、慎重な計画が必要です。



ホワイトホースから飛行機で約2時間

ビーバー・クリーク

Beaver Creek

カナダ最西端のスマールコミュニティ

アラスカ・ハイウェイを西に向かい、アメリカとの国境ギリギリの所にあるのがビーバー・クリーク。カナダ最西端のコミュニティとしても知られています。人口100人足らずの町ですが、ガソリンスタンドや簡単なショップ、レストラン、ロッジが揃っており、アラスカ・ハイウェイ上の便利な立ち寄りスポットとなっています。周辺の自然は大変美しく、とくに秋の紅葉は見事。野生動物との遭遇も期待できるエリアです。

ホワイトホースから車で約5時間





極北の手つかずの大自然と出会う 国立公園&準州立公園

ユーコンには3つの国立公園と8つの準州立公園があります。いずれもカナダを代表するような、ダイナミックなネイチャーワールドです。

ハイキングを目的としたツアーも人気



◎60kmもの長さで流れるローヴェル氷河 ◎カナダ最高峰のマウント・ローガンにも続く山岳地帯。フライトツアーなどでその姿を見ることもできる

クルアニ 国立公園

Kluane National Park and Reserve

5000m級の高峰群と氷河が彩る 迫力の山岳地帯

ベースタウンのヘインズ・ジャンク ションまで、ホワイトホースから車で約1時間30分

カナダ最高峰のマウント・ローガン(5959m)を頂点に5000m級の山が連なる山岳地帯。周辺の山岳地帯とあわせて、世界遺産にも登録されています。高峰が連なり、長さ数十キロにも及ぶ長大な氷河の数々が流れだす、圧巻の絶景。息を飲むような自然の中、ハイキングやカヌー、ラフティングなど、本格的なアウトドア体験を。氷河上空の遊覧飛行など、アウトドアが苦手な人も楽しめるアトラクションもあります。



一帯は野生動物の宝庫でもある



トゥームストーン準州立公園

Tombstone Territorial Park

まるで別世界! ツンドラの大地に屹立する岩山

インタープリティブ・センターまで、ドーンソン・シティから車で約1時間30分

悠久の時を経て雨風に浸食され、ギザギザにとがった花崗岩の尖峰。そして、その下を絨毯のように埋め尽くすツンドラの大地。どこか別の惑星にでも迷い込んだかのような不思議な景観に出会えるのが、ここトゥームストーン準州立公園です。ホワイトホースやドーンソン・シティからのガイドツアーを利用して訪れるのがおすすめです。



秋、ツンドラの紅葉 風景も素晴らしい



キャンプ場もあり、数日かけて楽しむことも可能。

カリブーが大移動する、究極のネイチャーワールド イバビック&ブントット国立公園



北極圏の原野を大移動するカリブーの群れ

北極海に面して広がるイバビック国立公園と、その南に隣接するブントット国立公園は、春と秋、何十万頭ものカリブーがツンドラの大地を大移動する様子が見られる大自然地帯。いずれも、野生動物

の狩猟により生活の糧を得てきた先住民文化を守るため、国立公園となった特殊なエリアです。アクセス方法は限られており、許可を得た限定的ツアーへの参加などが必要です。